

山本学区社協

令和5年1月31日発行

第117号

編集

山本学区社会福祉協議会

広報委員会

☎874-8218

本号の紙面

① 地域と共に子どもたちの未来を
② 新年のごあいさつ
献血のお礼

③ むすび塾in広島
④ いきいきサロン
サロン百歳体操

⑤ トモスフェス2022
山本をきれいなまちに
⑥ 国務・防災担当大臣賞、寄付

地域と共に子どもたちの未来を

広島市立山本幼稚園

園長 岩井美江



地域の皆様には平素より山本幼稚園の教育にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

今年度も、新型コロナウイルス感染症対策により、地域の方との交流が十分に持てておりませんが、できる形で交流をさせていただくことができ、地域の皆様の温かさに触れ、子どもたちの心身の成長を見守り支えていただいくことができている。令和5年は、令和4年よりもできることが増えることを願っております。ぜひ山本幼稚園へ足をお運びください。

地域の皆様には、育ていただき、幼稚園として現在54年目を迎えています。少子化や、社会の状況等もあり、近年の入園者数は減少しておりますが、子どもたち一人ひとりを大切に、良さを認め、伸ばしていくこれまでの教育は変わっておりません。

山本幼稚園の教育目標は「心豊かにたくましく生きる子どもの育成」です。現在50人の子どものうちが元気に生活をしていきます。

子どもたちは、乳児期をコロナ禍の制限の中で育っています。今年度は、コロナ禍でもできる実体験を行っていかうと、園生活や行事等を行ってききました。山本の地域を知り、自然と関わり豊かな心を育むため、地域の皆様のお力をお借りし、地域散歩に出掛けたり、土に触れ、様々な野菜を植え、育てたりする経験もしています。また、七夕には地域の睦会の皆様に来園いただき、子どもたちの元気な姿を見ていただくことができました。



運動会では、5歳児は自分がやりたい運動遊びにチャレンジしました。保護者の皆様に支え、励ましていただきながら、自分なりの「やってみたい」できた「楽しくなった」という気持ちを感じました。その後、様々な経験を通して自分の達成感を味わっています。

令和2年度から、広島市教育委員会より、幼保小連携推進の指定を山本小学校と共に受け、幼児期と小学校一年生の学びの連続性について実

践研究を行っています。就学前後は、子どもも保護者も不安です。その不安を安心に変えるためのカリキュラムの編成や、幼稚園、小学校等の教師が共に子ども理解等を研修していくことで、全ての子どもにとってより良い接続期の教育となることを目指し取り組んでいます。幼児と児童の交流活動も行っています。先日も1年生とドッジボールをしました。1年生の投げる姿やボールを取る姿に憧れ、早速次の日から真似てドッジボールをしていく子どもたちです。



また、地域の未就園児親子を対象に「ワイワイらんど」を開催しています。3歳児・2歳児対象の日もあります。日程や内容については、幼稚園のホームページをご覧ください。

今後も、地域の宝である子どもたちの未来をつなぎ、はぐくむ教育活動に努めてまいります。地域の皆様には、引き続きお力添えのほどよろしくお願い申し上げます。

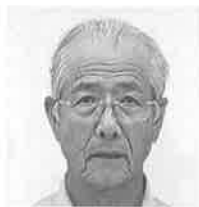


幼稚園ホームページ

新年のごあいさつ

山本学区社会福祉協議会

会長 小堀 昭 男



皆様、あけましておめでとうございます。

会長になって1年と9カ月が経過しました。住民の皆様が、安全で安心できる、住みやすいまちづくりを目標として、活動をしていまい運営を強いられています。コロナ禍の発生もなく、今後も感染対策を十分にしながら取り組みをすすめていきます。今日まで役員、地域住民、その他、様々な人たちのご理解とご協力に対し、心よりお礼申し上げます。今後もよろしく願います。

事務局体制の強化について

会長就任後、事務局(会長、副会長、会計・事務局長兼務)、地域福祉推進委員、委員会委員長による委員会会議を立ち上げ、話し合いを行ってきました。事務局員どうしの意思疎通を図り、事務局体制を強固にするためです。

委員会活動については、総務委

員会、福祉活動委員会、ボランティアバンク運営委員会、広報委員会、福祉のまちづくり委員会、ICT委員会の6つの委員会で行っています。

安心ネット山本について

令和4年10月現在、登録者25人、協力員19人です。幹事会や運営委員会の開催、見守り協力員の交流を実施しています。2022年には、見守り協力店として、企業や薬局、スーパーなどの店頭に、ステッカーをはってもらい、見守り活動に協力してもらおうよう依頼し、14店舗に了解していただくことができました。さらなる取り組みを続けていきます。



社協活動拠点活性化支援事業について

山本学区社協事務所は、山本集会所内にあります。現在、毎週水曜日、金曜日の9時～11時までボランティアバンクの受付業務を行っています。それとは別に、毎週火曜日、木曜日の午前中(時間は未定)、常駐者を配し、行政の支援を受けながら、地域住民の相談窓口として活動する取り組みを

開始します。開始は、令和5年4月1日からです。よろしく願います。

山本集会所の運営について

山本集会所は、1972年(昭和47年)祇園町が広島市に合併後、1975年(昭和50年)に建設されました。管理運営は、山本集会所運営委員会が、広島市との無償による建物の使用貸借契約を結んで使用しています。山本の人たちの集會や各種団体などの集會活動に使用され、地域の連帯と福祉向上の場となっています。2021年8月から2022年3月まで、耐震工事、トイレの改修工事を行いました。1階の和室の畳に傷みが目立ち、カーペットを敷きました。2階ホールのエアコンも新しく買い替え、設置しました。使いやすい集会所になっています。しかし、運営は厳しい状況です。コロナ感染症のため、利用者が激減し、運営の原資である集会所の使用料が入らなくなっているからです。多くの方々に使っていただくよう、よろしく願います。

おわりに

みなさんと一緒に様々な取り組みをしていきたいと思います。よろしく願います。

献血のお礼

山本学区献血推進協力会

会長 森 本 勝 義

令和4年12月3日(土)、山本小学校グラウンドで山本公衛協、山本協、広島城北ライオンズクラブの主催による、恒例の「献血助け合い運動」を実施いたしました。

コロナ感染拡大で血液が不足しております。400mlの基準量で男性は17歳・女性は18歳から69歳まで献血は可能です。



コロナ禍にも拘わらず地域の皆様87人参加の方から79人の善意の献血をいただき感謝申し上げます。

スタッフも街頭に立ち協力を呼びかけました。また、山本小学校・山本幼稚園のご協力を得て、各家庭に呼びかけました。

各店舗の皆様にもご協力ありがとうございました。

むすび塾in広島

山本学区社会福祉協議会

会長 小堀 昭 男

令和4年11月5日(土)、東日本大震災の教訓をもとに「いのちと地域を守る」キャンペーンに取り組み

河北新報社(仙台市)の防災ワークショップ「むすび塾」を、中国新聞社、広島経済大学、広島市安佐南区山本学区と連携して実施しました。

〈趣旨〉

広島市安佐南区はこれまで大雨による土砂災害が相次いでいます。山本学区では高齢化率が年々上がっていて、災害時の要配慮者の避難が大きな課題としてあります。こうした現状から、新聞社・大学・地域住民が連携し、東日本大震災体験者の教訓をもとに、災害時要配慮者の支援に向けた課題と、解決に向けた自助、共助を考えることを目的として「むすび塾in広島」を実施しました。

午前の部

講演会 10時30分～12時

広島経済大学 明德ホール

蟻坂 隆さん(30分)

(宮城県石巻市・八幡町町内会)



午後の部

避難訓練 13時30分～14時

Aグループは、7丁目の谷口さんとそのお孫さんに、自宅から山本小学校まで通学路を通過して避難

していただきました。

要支援者の避難を支援者が補助する八幡町のネットワークを2004年に、町内会や民生委員が中心となって作った。地震が起きたときに感じたことは、支援者だけに頼るのではなく、近所の住民同士が助け合える関係をつくっておくことの重要性だった。

石山うみかさん(30分)

(宮城県石巻市・介護サービス事業者めだかグループ)

震災前、避難時間の短縮を目指し、年4回ほど防災訓練を行っていた。震災発生直後もすぐに車で避難を開始し、結果として利用者や職員、住民ら計87人を高台へ無事移動させることができた。事前に避難経路や場所を決めていたことが、素早い行動につながったと思う。災害時は事前の準備が、避難の成否を左右する。訓練はもちろん、日常の中に防災にも役立つことを取り入れ、災害への意識を根付かせ、落ち着いた行動につなげてほしい。

避難訓練 13時30分～14時

午後の部

避難訓練 13時30分～14時

Aグループは、7丁目の谷口さんとそのお孫さんに、自宅から山本小学校まで通学路を通過して避難

していただきました。

Bグループは、9丁目の小嶋さんに車いすに乗ってもらい、自宅から山本小学校まで通学路を通過して避難していただきました。

A・Bグループいずれにも広島経済大学生、地域住民、区社協職員が補助員として参加しました。

ワークショップ 14時30分～17時30分

山本集会所2階ホール

河北新報社2人 中国新聞社2人 広島経済大学2人 山本学区6人

ワークショップ 参加者を取り巻くように、約30人の参加者が傍聴する形で行われました。その中で話された感想、意見は、次のとおりでした。

○山本学区は、街灯が少なく、夜間の避難は適していないと感じた。また、大雨になると住民は風雨を避けるため、避難に車を利用する確率が高い。避難所の駐車場が足りなくなると、一帯



が渋滞する可能性がある。課題があっても、どうすればよいか、知恵をしぼり、時には行政に提案することも必要だろう。

○日頃の健康・体力づくりと近所付き合いの大切さも再認識した。要配慮者が自ら頑張って玄関先まで出ることができれば、気心の知れた住民の支援が受けやすくなり、速やかな避難にもつながる。

○避難の途中、道幅がせまい、段差がある、石垣やブロック塀がある、車いすが通りにくいところがある等、注意をすることがあるところが多くあることに改めて気づかされた。

○要支援者の避難を考える際、健常者が車いすに乗ったり、アイマスクや耳栓をしたりして、自ら体験し、互いに行動を検証してみると、課題がたくさん見つかるはずだ。

○学生が地域と連携し、若者や子育て世代など多様な世代を巻き込んでいけるようにしたい。

活発な質疑応答に加え、参加者は広島ご当地の「百歳体操」や、めだかグループの足腰体操を体験したほか、唱歌「ふるさと」を一緒に歌い、親交を深めました。

○山本学区は、街灯が少なく、夜間の避難は適していないと感じた。また、大雨になると住民は風雨を避けるため、避難に車を利用する確率が高い。避難所の駐車場が足りなくなると、一帯

が渋滞する可能性がある。課題があっても、どうすればよいか、知恵をしぼり、時には行政に提案することも必要だろう。

2022年度『いきいきサロン』活動報告

福祉活動委員会

委員 田中啓子

新型コロナウイルス感染症が、さらに勢いを増しています。マスクを着けていると、互いに相手の顔が分かりづらく、声かけもつい気後れしがちです。

社協の福祉活動委員会では「このような時こそ、出会い・ふれあい・支え合い」をと、3密を避けながら『いきいきサロン』を開いてきました。

22年度の活動を振り返ると、やむなく中止したのは8、9月だけでした。6月は「みすじ会」の森廣邦枝さん、谷川博子さんから4人のゲストによる三味線と唄を楽しみました。10月は山本集会所の社協事務所から出火との想定で、避難訓練を実施しました。2階ホールの舞台袖にあるドアを開け、ベランダ伝いに外階段から脱出。消火器の扱い方など、沢山のことを学びました。

12月は恒例のクリスマス会。折しも第4土曜日はクリスマススイブで、企画や準備に力が入りました。スタッフの舛田光司さんがアル

トサックス、山本四丁目の早稲田幸治さんと、伴安の福島瑞恵さんがテナーサックス、包括支援センター職員の小村三由紀さんと小6の優那さん親子が電子ピアノ、小堀昭男会長がギターで出演。「見上げてごらん夜の星を」「きよしこの夜」など4曲を、演奏されました。



舛田さん演奏の「いのちの歌」では、白板に貼られた竹内まりやの歌詞と相まって、深い感動を覚えました。

クリスマス会当日は、前日の大雪で、参加をためらわれた方も多数いらっしゃいました。迷いに迷っての開催でしたが、皆様にはお怪我也なくてホッとしています。

これからも、皆様との出会いを求めてサロンに集いましょう。

「サロン百歳体操」について

福祉活動委員会

委員長 小堀昭男

はじめに(目的)

『いきいき百歳体操』は、2002年、高知市が介護予防のために開発した、錘(おもり)を使った筋肉運動の体操です。筋力をつけ、いつまでも元気で過ごせる体をつくることを目的とします。

取り組みについて2021年度になって、包括センターや行政職員の助言、指導を受けながら3月17日(水)よりスタートしました。毎週水曜日、10時から、山本集会所で実施することとしました。

コロナの感染防止のため、密になることを避け、できる限り多く参加してもらうために、ダブルレットを使用し、二階のホールと一階の和室の2カ所で開催するようにしました。コロナ感染症により、5月より山本集会所での開催ができなくなりました。また、8月より、山本集会所が耐震工事により使用できなくなりました。

サロン百歳体操をやりたいという参加者の思いと、われわれ主催

者側の何とか実施しようという思いがあり、リモートによるサロン百歳体操を実施してきました。



11月から丸子集会所で実施開始、2022年1月から、サンキ・ウエルビーさんが参加され、リモートによる実施が軌道に乗つつあります。参加者を増やすための広報活動や、他の介護施設等にも話をしていきます。市行政、市社協、区社協、他学区の社協、包括センター等、視察に来られています。

リモートでの発信は、今後も継続します。集会所には行くことはできないが、家での体操はできるということで、取り組みを進めています。今現在、参加者、スタッフを含め約70人が参加しています。

銀山門前通り トモスフェス実行委員会

代表 杉 田 雅 之



日頃より地域の
方々のご理解とご
協力を賜り、深く
感謝申し上げます。

（土）、地元の社会福祉協議会様ならびに祇園町商工会様のご後援のもと、銀山門前通り（安佐南3区长東八木線）にて『トモスフェス2022』というお祭りを開催することができました。当日は松井市長をはじめ、植竹区長、沖本警察署長にもお越し頂き、地域のお祭りの様子をご覧になられました。

『トモスフェス』は、夏休み最後の土曜日に、子どもたちの記憶に残る景色を創り出したいという思いで、2016年に初めて開催しました。以降、毎年改善を重ねながら開催を続けていきましたが、段々と規模も大きくなっていった最中、コロナ禍により、2020・2021年と開催を見送ることとなりました。3年ぶりの開催となった昨年でしたが、小さなお子様からおじい

ちゃんおばあちゃんまで、実に幅広い年齢層の方々に、多数参加して頂きました。祇園中学校吹奏楽部による演奏や、広島経済大学の学生によるライブ、山本きそん音頭やぎおん音頭の紹介、そして南一誠氏によるライブと、ステージも大変盛り上がりしました。



スギタベーカーリー・フRESTA会場、JA広島市祇園支店会場、I T T O個別塾会場と、3つの会場では20店舗近い出店者の方々により、色々な催しや、食べ物・飲み物の販売が行われ、会場を訪れた人たちを楽しませて下さいました。

大きな問題や事故もなく、大盛況のうちに終えることが出来ました。このように、みなさまの温かいご協力のおかげです。本当にあり

がとうございました。

「まちに灯りをとます。このまちに暮らす人、働く人、学ぶ人、みんなの記憶に残る景色を創りだす」そんな思いで、銀山門前通りトモスフェス実行委員会は動いております。『トモスフェス』というお祭りが、老若男女、世代を超えて人と人とのつながりを育み、垣根を越えて協力し合えるものになるように、今後ともみなさまのお知恵とお力をお借りしながら進めていければと思っております。今後ともご理解とご協力の程、何卒よろしくお願い申し上げます。



山本をきれいなまちに

青少年健全育成連絡協議会

会長 谷 口 正 行

山本学区の各種十二団体の後援を得て、12月3日（土）午後1時30分から、山本学区の美化活動を行いました。コロナウイルス感染防止のため、規模を縮小し実施しました（例年の半数程度参加）。

幼・保、小・中学校の先生方、各スポーツクラブの児童、祇園中学校男子バドミントン部の生徒、そして地域の皆様など、総勢200人の参加で、学区内の公園や神社、通路の空き缶やポイ捨てごみを、6コースに分かれて収集しました。



この活動は、子どもたちが山本に「任んで良かった」と育つてよかったと思えるきれいなまちになるよう、またそれを見守る大人たちとふれあ

うことで、安全・安心な環境を自覚し、感謝できる心を育むよう、毎年行っております。今後とも皆様のご協力をお願いいたします。

「戦争・被爆体験を学ぶ会」 国務大臣賞を受賞

山本学区連合睦会

会長 谷川 正徳

山本小学校が約30年間、開催してきた「戦争体験を学ぶ会」に睦会から十数人が語り部として参加した事に對し、内閣府から、国務大臣賞と記念の楯を頂きました。

戦争・被爆体験を学ぶ会は、毎年3日間、6年生を対象に、講師一人に児童3〜4人一組とし、児童からの

質問に講師が答える方式でおこなわれます。

児童たちは事前に、被爆者の遺品や惨状を示す写真や資料がある広島平和記念資料館を見学したり、図書館で調べて質問項目をまとめています。講師は、実際あった生の体験をトットツと語りかけます。

「軍隊は格子なき牢獄」「学徒動員で栄養失調となり自宅療養を命じられた」呉では、米軍機が市中を爆撃した。生きた心地がしなかった……と。児童は余りの迫力に真剣な眼差しで聴き入ります。この思い出は大人になっても記憶に留められると思います。

策を最優先し、多数押し寄せた避難者の受け入れに、小学校職員及び区災害対策本部と連携を密にし、主体的に避難所の運営を行いました。

これに加え、土石流が発生した西山本川上流に設置していた防災ライブカメラの画像や、被害の様子などをまとめたビデオを製作し、様々な場面で地域の住民が目にする機会を設けるなど、避難所の運営のみならず、被害状況をまとめ、防災思想の普及・啓発に努めた功績が評価され受賞の対象になりました。改めて関係者の方々に御礼、感

防災担当大臣賞受賞

山本学区自主防災会連合会

会長 岡野 康紀

この度、山本学区自主防災会連合会が内閣府から防災担当大臣賞を受賞しました。

一昨年8月の豪雨災害において、災害発生前から山本小学校に避難所を開設、コロナ対

今後も、ご協力のほどよろしくお願い致します。



今後も、ご協力のほどよろしくお願い致します。

謝を申し上げます。これからも防災情報提供を逐次提供してまいります。また、防災訓練も行いたいと思っております。

おめでと〜ございませす

『つながる会』が小学校児童の長年の見守り活動が認められ市長より表彰されました。

山本体協女子ソフトボール部が府中市で行われた広島県民スポーツ大会で優勝しました。



山本七丁目 荘川奈美枝様
物故者 荘川 福己様
ご厚志に對し、心よりお礼申し上げます。福祉活動のために有意義に活用させていただきます。

社協のHPはこちらから

URL
<https://www.com-net2.city.hiroshima.jp/yamamoto/index.php>

QRコード

